

環境保全全型 スマート農業

「営農モデル構築を目指して」



アイガモロボは太陽光発電により、ほ場内を自由航行、雑草の光合成を抑制することで、有機栽培において一番手間にかかる雑草対策の省力化に有効です。

おいしいお米を食べて 環境保全の重要性を学ぶ

令和4年5月、にかほ市はTDK株式会社、市内農業法人・株式会社権右衛門、農機具メーカー・井関農機株式会社、自動抑草ロボット（アイガモロボ）開発企業株式会社N EWGRE EN（旧名有機米デザイン株式会社）の5者によりスマート農業を活用した環境負荷の低い水稲の営農モデルを構築し、農家の所得を押し上げ地域貢献を目指す連携協定を締結しました。

令和5年度には、にかほスマート農業研究会、秋田県由利地域振興局からも協力を得て実証実験に取り組んでいます。令和6年度までの実証結果として、使用できるほ場に一定の条件はあるものの、省力化を図ったうえで十分無農薬での栽培は可能という事が分かってきました。



▲今年発売の新型アイガモロボ。スクリューによる航行からブラシの回転による走行に改良。

令和7年度には走行性能や除草性能が向上した、新型のアイガモロボの検証を行います。令和5年度、6年度には実証ほ場で採れた無農薬サキホコレを小中学校や保育園・こども園に提供しています。



▲甘くてモチモチしていると大好評。おかわり殺到で完食しました。



▲園児がおにぎり作りに挑戦。楽しくおいしくいただきました。

東京書籍株式会社の教材に取り上げられました

全国に向けて教科書等を編集・出版している東京書籍株式会社が今春発行した中学校技術・家庭（技術分野）の教材に掲載されました。最先端技術の活用と関係者間の協力関係構築によって地域の問題解決に取り組む事例として、全国の中学生に本市の取り組みが紹介されています。

先進技術で農家の挑戦を応援する

有機農業の協力を主としたTDK株式会社の社説は「にかほ市で人口の減少が懸念となるなか、技術を活用することで、経験や実務から得た知識を継承し、有機農業の発展に貢献することを願っています。また、協力の導入を促すことにもつながる。農家が主体的な農業になれば、若者も農業に就き、にかほ市に定住しやすくなると思います」と取り組みの重要性を説きます。

若者と有機栽培は未来の希望

2023年には、実証実験を行っている水田で、秋田市内の農家などを招いた有機栽培の講習を行いました。また、栽培した米を地元の小中学校の給食で提供するなど、地元の人を取り組む機会も増やしています。

町長さん、農家さん、みなさんから聞かされたこと

町長さん「健全な地域社会という土壌があれば、農業者の暮らしも成り立たない。有機栽培に取り組む農家さんの中には、環境を守り、食料を生産するという、2つの大仕事を未来のために担ってくださっている。私たちも未来に向けて、技術で農業を応援していきたい」と思いを語りました。

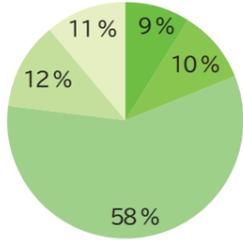
農家さん「有機栽培は、昔ながらの農法を守り、食料を生産するだけでなく、環境を守り、食料を生産するという、2つの大仕事を未来のために担ってくださっている。私たちも未来に向けて、技術で農業を応援していきたい」と思いを語りました。

関係者「地域の課題は、昔ながらの農法を守り、食料を生産するだけでなく、環境を守り、食料を生産するという、2つの大仕事を未来のために担ってくださっている。私たちも未来に向けて、技術で農業を応援していきたい」と思いを語りました。

環境保全型農業アンケートを実施

令和6年度に市内の農業者640人にアンケートを実施しました。有機栽培や本取り組みに対し、104人の方から回答をいただきました。

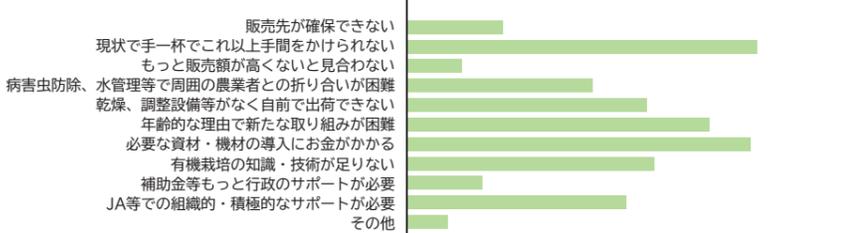
有機農業はハードルが高いという意見が多く、一番の課題は手間をかけられないからという回答が多い結果となりましたが、最先端の技術が課題解決の突破口になります。



Q. 本取組（環境保全型スマート農業による営農モデル構築）について、あなたの考えに近いものは？

- 有機農業等の環境に配慮した営農について、積極的に実施している
- 出来上がった営農モデルを見てから実施の検討をしたい
- 環境保全の必要性は感じるが、自分で実施するにはハードルが高い
- 当地域において、有機農業等はそぐわない
- その他

Q. 有機農業等を実施するとした場合、あなたにとっての課題は？（複数回答）



問 農林水産課 農業振興班
☎ 38・4303



▲今年度は協定の最終年度。関係者一同、力を合わせてがんばります。

今年度も象潟前川地区の基盤整備田をはじめとする市内各地で実証実験を行います。5月下旬から6月中旬頃までアイガモロボが航行、実証ほ場の場所は市の公式HPから確認できます。

今年度が5者連携による取り組みの最終年度になります。ぜひ田んぼで活躍するアイガモロボをご覧ください。

今年度もアイガモロボに注目